



在京古高同窓会会報
第54号
 〒352-0031
 新座市西堀2-17-37
 在京古高同窓会事務局
 ☎・FAX (042) 494-1598
 URL: <http://furuco-doso.com/tokyo>
 Email: skyoji@jcom.home.ne.jp
 発行責任: 大友 文博
 編集長: 亀井 明
 印刷: (株)ケーヨー

新年のご挨拶

会長 鹿野 軍勝



害者が出て心を痛めました。加えて、秋になると何を怒ったか(?)御嶽山が大噴火を起こし、多くの登山者が犠牲になるという大規模災害に見舞われました。自然に対する畏怖を失ってはいけないという警鐘でしょうか。

皆様、新年明けましておめでとうございます。さて、昨年6月の総会で高橋会長の後を引き受けてから早や半年が過ぎてしまいました。昨年はSTAP細胞の作製という偉業(?)を成し遂げたというところが一時明るい話題を提供してくれました。しかし、その後再生実験が実現できなかつたことや論文について多くの疑問が提示され実験データの管理の杜撰さも明るみにでて、我々の夢は大きく萎んでしまいました。そして最も口惜しいことは、この騒ぎの渦中で日本の(そして世界の)貴重な財産ともいべき方を亡くしてしまったことです。

4月には、消費税が8パーセントに引き上げられ、その分我々の生活も窮屈になりました。夏には大雨による土砂災害等で多くの被

も不透明な状況です。

ここで、わが在京古高同窓会について語ることにします。昨年6月の総会では、会則の一部改正と役員を選任を行いました。また、先輩の鈴木富七郎先生に「日本人の精神文化(神と仏教の融合)を語る」という題で講演をしていただきました。10月には、「江戸・東京探訪ツアー2014」ということで、神田明神界限の風土と歴史を訪ね、神楽坂の「桃源郷」にて懇親会を開きました。

この機会に是非会員の皆様にお願いしたいことがあります。

一つ目は、在京同窓会の財政基盤の強化についてです。そのためには、会費の納入は勿論のことよろしくお願いいたしますが、併せて「賛助金」のご寄附も頂戴できれば幸いです。

二つ目は、在京同窓会の会員の発掘・拡充です。そのためには、会員諸兄がご存知の後輩等に積極的に声をかけて頂くほか、年次ごとの世話役(連絡役)になってくれる同窓生を発掘する必要があります。是非皆さんに手助けして頂ければ誠に幸いです。

最後になりましたが、1月24(土)には恒例の四校合同新年会―あわせて新春コンサートが開催されますので、是非とも多くの方々に参

在京同窓会メモ

- ・会計年度は4月-翌3月、年会費は2,000円です。振り込み用紙が同封された方は会費納入をお願いします。
- ・会の健全運営のため、賛助金のご協力をお願いします。
- ・次回会報第55号は2015年6月1日発行予定、原稿は常時受付。

加頂き、交流と親睦の輪を広げて頂くとともに、明るい話題を提供して頂ければと思っております。2015年が皆様にとって幸多き楽しい年になりますよう念じて新年のご挨拶いたします。

新年のご挨拶

古川高等学校長 鈴木 悟



1点目は、本校恒例の小講演会に在京同窓会長・鹿野軍勝様を講師としてお招きしたことです。外交官であった鹿野会長の、丁寧でわかりやすい話に聴き入り、質疑ではほとんど手が上がり、大いに盛り上がりました。後輩にとつて、事を成し遂げた先輩の話ほど有り難いものはないなあ、と感じ入りました。

2点目は、紹介が遅れましたが、鈴木桂吾様(高三回)より頂戴した貴重な蔵書を「鈴木文庫」として生徒に供覧したことです。鈴木様には大変感謝申し上げます。

3点目は、「江戸・東京探訪ツアー2014」に参加させていただいたことです。

在京同窓会の皆様、新年明けましておめでとうございます。会員の皆様方には、日ごろより母校に心を寄せていただき感謝申し上げます。

東日本大震災から4年目を迎えた昨年、宮城県は震災復興期から再生期に入ると宣言しました。本校も、これと軌を一にして「挑戦する古高2014」を合い言葉に、ワンランク上の文武両道を目指してきました。

最難関大学への挑戦、部活動での全国大会出場及び上位入賞と、生徒諸君は自分の志をしっかりと持ち、自分たちの置かれている立場を理解し、歯を食いしばって限界に挑戦しています。全くもって、見上げた先輩たちです。

さて、在京同窓会の皆様に関する話題を3点紹介します。

今回は、伊達藩ゆかりの「仙台堀」のお茶ノ水から神田明神、後樂園を巡る旅でした。湯島聖堂では、古高生のために合格祈願の絵馬を購入し、今は昇降口に飾っています。神楽坂を登った後の昼食の美味しさとともに、在京同窓会の皆様と懇談できましたこと、母校への熱い気持ちを拝聴できましたこと、今も脳裏に焼き付いております。

新年を迎えましても、在京四校会、卒業生への雪雪賞授与式など、まだまだ在京同窓会の皆様にはお世話になることが続きます。今後とも母校のことをよろしく願います。

高い志を持って日々精進する古高生を、しっかり育て、「雪雪人(健児)」として巣立たせることをお誓いし、新年のご挨拶とします。

本部同窓会事務局だより

新年のご挨拶

古川高校同窓会 会長 渡邊 義之



在京同窓会の皆様、新年おめでとうございます。今年も皆様方にとりまして倅せ多き年になりますよう心からご祈念申し上げます。

さて、昨年の在京同窓会の総会で、多年にわたり在京同窓会の指導的役割を担ってこられた高橋会長さんを始め、門脇・春田の両副会長さんが退任され、新しく鹿野軍勝氏を中心とする新体制になりました。高橋前会長さんや、門脇・春田両副会長さんの尽力に對し心から謝意を表する次第であります。

高橋前会長さんはトヨタの副社長や郵政公社の副総裁の要職を歴任されたにもかかわらず、実にきざくで、大変親しみやすく、私の1年先輩ということもあって、私にとつては頼り甲斐のある兄のような存在でした。また在京の会長として卓越した手腕を発揮され「ふるさと探訪ツアー」などの新企画を次々と打ち出され、在京同窓会のみならず本部や在仙同窓会の活性化にも貢献されたことは皆様の

周知の通りでございます。

また門脇・春田の両副会長さんは在京同窓会の生き字引的存在で在京同窓会の発展に尽力されました。私にとつても、会長就任以来影に陽に心からなるご指導を賜り、私の同窓会経営の精神的支柱でしたので、お二人が退任されましたことは、心の中にポツカリと穴があいた気がいたします。どうかお元気でいたらぬ私を導いて下さるようお願い申し上げます。

鹿野新会長さんは私と同じ出身中学で旧知の素晴らしい人物です。新会長さんと密なる連携をとり、同窓会活動の活発化に努めてまいりますので、よろしくお願い致します。

終わりに、私は同窓会の第一の使命は母校を支援することだと考え常に母校の発展と在校生の倅せを願ひ活動してきました。今年もこの方針で同窓会活動を展開して行くつもりですので、在京の皆様にも今後ともご指導・ご支援をお願いし、新年のご挨拶と致します。(昭34年卒)

近況報告

事務局長 工藤 昭裕



在京同窓会の皆様、新年あけま

しておめでとうございます。

昨年、本部総会を始め各支部総会等、いずれも大盛會に終了することができました。昨年作成した「支部旗」は、各支部の総会で贈呈し、好評をいただきました。また昨年度より、会報の郵送方法を、会費納入方法も、郵便局扱いにコンビニ取扱を加えました。が、本年度は、昨年度に比べてコンビニからの納入が増加しております。

さて古川高校は仮設校舎から新校舎に移転して、間もなく一年になるうとしています。生徒達は日々文武両道に励み、部活動での取り組みや進路目標の達成に向かって邁進しております。

部活動の活躍について報告いたします。ソフトボール部は、6月に行われた県高校総体で優勝し、5年ぶり16回目のインターハイ出場を果たしました。また、陸上部個人「やり投げ」で4位に入賞し、東北大会出場、山岳部が第3位、男子バレー部、剣道部女子がベスト8等活躍しました。ソフトボール部は新人戦でも優勝し、3月に行われる全国選抜大会への出場が決定しています。

吹奏楽部は、8月に行われた吹奏楽コンクール宮城県大会で見事「金賞」を受賞し、8月30日に行われた東北大会に5年ぶり10回目の出場を果たしました。

さて、本校同窓会は創立104年目に入りました。本年度の本部総会は8月9日(土)に地元大崎市「芙蓉閣」にて、140名の参加者を迎え、盛大に開かれました。当日は震災による被害者を含めた

物故者への黙禱、校歌斉唱から始まり、渡邊義之同窓会会長、鈴木悟校長からの挨拶の後、在京同窓会会長鹿野軍勝様、関西雪雪会事務局長高橋達也様からご祝辞を頂きました。

報告事項として、本年度も3名の在校生に奨学金を授与したことを報告しました。その後議案審議に移り、平成25年度の事業報告、決算報告、平成26年度の事業計画案及び予算案が承認され、総会は終了いたしました。

また、午後2時40分からは記念講演が行われ、本校昭和48年・第25回卒で、北海道大学大学院教授の千葉恵氏に、「震災と日本の未来―心魂と科学技術の再定位―」と題して、東日本大震災からの復興と科学技術の今後の在り方を踏まえ、これからの日本の進むべき道等をご講演いただきました。

その後講演者を交えて記念撮影を行い、続いて行われた懇親会は昨年に引き続き、新卒者も加え、大いに盛り上がりを見せた楽しい会となり、大成功のうちに本年度の総会を終了いたしました。

総会後の主な行事としては、10月25日に「江戸・東京探訪ツアー2014」が在京同窓会役員の皆様のご尽力で開催されました。本年は、「聖橋口」を皮切りに「ニコライ堂」「湯島聖堂」「神明明神」等を探訪し、古き良き江戸の町を堪能しました。在京同窓会の皆様、大変お世話になりました。

今後とも同窓会活動に変わらぬご支援ご協力を賜りますよう、よろしく申し上げます。(昭49年卒)

貸ビル、貸マンション業

株式会社 佐々木商事 代表取締役
株式会社 アクアバンドジャパン 代表取締役副社長

佐々木 光一路 (昭和33年卒)

〒144 東京都大田区南蒲田1-1-21 佐々木ビル-0035
第一京浜国道沿い京急蒲田駅前
電話 (3739) 2468
FAX (3732) 7700
HOT Line 090-3202-6393

情報処理のエキスパート 完成図書・デジタル化総合サポート

電子納品作成支援 おまかせください!

導入から成果品まで専任スタッフがきめ細かく対応しバックアップいたします。

Table with staff qualifications: CALS/ECインストラクター 10名, 電子化ファイリング 2名, 文書情報管理士 1級 1名, 2級 3名

代表取締役会長 早坂清吉 (昭和29年卒)

総会報告

平成25年度

新会長鹿野軍勝選出

新たな幕開け!

築館高校同窓会関東支部より
熱海支部長らが初参加

会員の皆様。6月21日(土)上野精養軒で開催された平成26年度定時総会・懇親会の報告を致します。今年も在京学生8名(女性4名、男性4名)が参加して若々しい雰囲気を感じてくれました。

◇ 定時総会の部 ◇

物故者への黙祷、校歌斉唱の後、高橋俊裕会長より在京古高同窓会は、伝統を大事にしながら環境の変化に対応して、絶えざる革新をする同窓会を目指し、今年には新しい役員体制を決定する総会にした。いざい強い挨拶が始まりました。提案された第1号から第6号の議案はすべて承認されました。第3号議案において、財政基盤を支えるために、会則一部改正案が承認されました。

年会費は1ヶ年2,000円として分かり易くして、若い世代の同窓生に対して会員の新規加入を促すと共に、賛助金を新設して、会員の皆様に多くのご厚意を受けられやすい制度に変更しました。1枚の振込用紙で会費と賛助金を明確に区分して一括で振り込み可能ですので、会員の皆様のご厚意を宜しく願います。
第6号議案役員選任案は、高橋

詳細な推薦理由を説明し、満場一致で承認されました。

従って、今年度の役員は次の通りです。(※は新任)

- 会長 鹿野 軍勝 (S36年卒) ※
- 副会長 曾根 研一 (S30年卒)
- 副会長 児玉 隆行 (S36年卒) ※
- 副会長 大友 文博 (S42年卒) ※
- 事務局長 佐々木恭次 (S38年卒)
- 編集長 亀井 明 (S55年卒)
- 監事 大友 正行 (S33年卒) ※
- 監事 鈴木 博 (S46年卒) ※
- 顧問 高橋 俊裕 (S33年卒) ※
- 相談役 門脇 健 (S24年卒) ※
- 相談役 春田 紘輔 (S27年卒) ※

新たに、
顧問 高橋 俊裕 (S33年卒) ※
相談役 門脇 健 (S24年卒) ※
相談役 春田 紘輔 (S27年卒) ※

◇ 講演の部 ◇

毎年好評の講演は、今年には弁護士鈴木富七郎氏(宮城県出身、東京大学法学部卒、日本弁護士連合会司法制度調査会委員長)にお願いしました。「日本人の精神文化を語る」(神と仏教の融合)という一見堅い演題ですが、よく知られた法律や裁判の事例を挙げながら、我々日本人の社会意識を丁寧にお話頂きました。



鈴木富七郎氏が講演を

◇ 懇親会の部 ◇

冒頭に、鈴木校長、渡邊本部同窓会会長より近況を含めたご挨拶があり、古高と姉妹校である築館高校同窓会熱海支部長、佐藤事務局長、阿部・橋本幹事の4名が参加されました。両高校間の交流と共に同窓会同士の交流も大切と思うとのご挨拶があり、懇親会では会場を廻って多くの会員と交流を深めました。



応援歌を皆さんで



築館の皆さんと

松ヶ根大崎市市民協働推進部長からは市内各地域の状況報告がありました。東日本大震災から3年3か月が経過し、その間「大崎市震災復興



若手の皆さんと

計画」を策定し、「復旧期」「再生期」「発展期」に分け、平成29年度の完了を目標に復興事業を進めているが、昨年の7月には古川第一小学校の新校舎が完成、また最も大きく被災した古川東中学校校舎も今年3月に完成し、東日本大震災による大崎市立学校教育施設の災害復旧がすべて完了、母校古川高校の校舎も落成し、大変喜ばしい限りとのこと。
また、岩出山の「旧有備館」の復旧も進んでおり、倒壊した主屋と附属屋の復旧工事に着手、平成27年度完成予定とのこと。
国の復興交付金事業の災害公営住宅建設も順調に進んでおり、さらに新市建設計画における最大の事業であり、227億円をかけた大崎市民病院本院が7月から外来診療が開始されることなど市内の状況を詳しく報告していただきました。
来年度平成27年度の定時総会は、6月27日(土)に上野精養軒で開催予定です。この機会に同期会を同時開催するなど是非多くの皆様の参加を期待しています。(昭42年卒 佐々木昭美 定時総会議長)

平成25年度 定時総会出席者名簿 (敬称略)

(来賓6名他) 相澤 信 (同窓会副会長 S35卒 古川出身) 斎藤 範夫 (在仙副会長 S48卒 鳴子出身)
志貴 一元 (教頭 会津若松出身) 工藤 昭裕 (同窓会事務局長 S49卒 中新田出身)
高橋 英文 (市長代理=大崎市市民協働推進部長 S47卒 古川出身) 真山 隆宏 (みやぎ大崎観光公社常務理事 S59卒 岩出山出身)

(会員55名) (カッコ内は出身地)

(在京学生10名)

在学先

昭20	高橋 典 (古川)	昭29	佐藤 高橋 (古川)	昭30	廣 (岩出山)	昭30	和田 勝 (岩出山)	昭38	阿部 重 (岩出山)	昭23	平 四 (古川)	昭24	青 倉 (古川)	昭25	富 三 (古川)
昭22	松本 慶 (東大)	昭30	高橋 清 (東大)	昭30	清 (岩出山)	昭30	渡 吉 (岩出山)	昭38	佐々木 次 (岩出山)	昭23	青 倉 (古川)	昭24	高 橋 (古川)	昭25	富 三 (古川)
昭24	門脇 健 (小田)	昭30	原 相 (小田)	昭30	清 (岩出山)	昭30	渡 吉 (岩出山)	昭38	佐々木 次 (岩出山)	昭23	青 倉 (古川)	昭24	高 橋 (古川)	昭25	富 三 (古川)
昭26	角部 啓 (古川)	昭30	門脇 喜 (古川)	昭30	清 (岩出山)	昭30	渡 吉 (岩出山)	昭38	佐々木 次 (岩出山)	昭23	青 倉 (古川)	昭24	高 橋 (古川)	昭25	富 三 (古川)
昭27	跡部 勝 (中新田)	昭30	門脇 敏 (岩出山)	昭30	清 (岩出山)	昭30	渡 吉 (岩出山)	昭38	佐々木 次 (岩出山)	昭23	青 倉 (古川)	昭24	高 橋 (古川)	昭25	富 三 (古川)
昭28	中森 正 (岩出山)	昭30	門脇 敏 (岩出山)	昭30	清 (岩出山)	昭30	渡 吉 (岩出山)	昭38	佐々木 次 (岩出山)	昭23	青 倉 (古川)	昭24	高 橋 (古川)	昭25	富 三 (古川)
昭29	中川 裕 (古川)	昭30	門脇 敏 (岩出山)	昭30	清 (岩出山)	昭30	渡 吉 (岩出山)	昭38	佐々木 次 (岩出山)	昭23	青 倉 (古川)	昭24	高 橋 (古川)	昭25	富 三 (古川)
昭29	佐藤 興 (古川)	昭30	門脇 敏 (岩出山)	昭30	清 (岩出山)	昭30	渡 吉 (岩出山)	昭38	佐々木 次 (岩出山)	昭23	青 倉 (古川)	昭24	高 橋 (古川)	昭25	富 三 (古川)

埼玉大学
尚美学園大学
青山学院大学
信州大学
駿河台大学
茨城大学
慶應義塾大学
関東学院大学
慶應義塾大学

<第1号議案> 平成24年度 活動報告

平成24年4月1日～平成25年3月31日

年月日	活動内容	場所
平成24年 5月26日(土)	会報「蛭雪49号」と総会案内発送(会員883名)	信陵会館
7月7日(土)	定時総会、懇親会 演奏：曾根麻矢子氏(チェンバロ)	上野精養軒
8月4日(土)	本部同窓会総会出席(曾根副会長、佐々木事務局長) (高橋会長、曾根副会長、佐々木事務局長)	大崎市「芙蓉閣」
10月25日(木)	会員交流会「ふるさと探訪ツアー2012」	古川～平泉～田尻
10月26日(金)	～世界遺産「平泉」と宮城の明治村「登米」を訪ねて～	南三陸町～登米～仙台
12月15日(土)	会報「蛭雪50号」及び四校合同新年会案内の発送(会員870名)	信陵会館
平成25年 1月26日(土)	「第20回 旧古川市内四校関東同窓会 新年の集い」開催 (幹事校：古高) (古高 71名、黎明 70名、古工 38名、古学 40名 四校来賓 4名、計223名出席)	上野精養軒
2月16日(土)	在仙同窓会臨時総会出席(佐々木事務局長)	KKRホテル仙台
3月1日(金)	「東京蛭雪賞」授与、並びに古高卒業式出席 (高橋会長、大友監事)	古川高校

- ◎役員・幹事会：信陵会館
 第1回 H.24年 5月26日(土) 18名(総会運営他)
 第2回 H.24年 9月29日(土) 14名
 (在京・本部総会報告、50号会報発行内容他)
 第3回 H.24年12月15日(土) 13名
 (「ふるさと探訪ツアー」報告、四校新年会準備他)
 第4回 H.25年 3月24日(日) 14名
 (四校新年会報告、定時総会準備他)
- ◎四校合同幹事会：東京文化会館会議室他
 第1回 H.24年10月30日(水)
 第2回 H.24年11月30日(金)
 第3回 H.25年 1月17日(木)
 第4回 H.25年 2月23日(土)
 古高出席者：曾根 佐々木(恭) 大友(文)

<第3号議案> 平成25年度 活動計画案

平成25年4月1日～平成26年3月31日

年月日	活動内容	場所
平成25年 6月2日(土)	会報「蛭雪51号」と総会案内発送(会員893名)	信陵会館
7月6日(土)	定時総会、懇親会 講演：加藤勝信氏(内閣官房副長官)	上野精養軒
8月10日(土)	本部同窓会総会出席	大崎市「芙蓉閣」
9月21日(土)	蓮つかさ 観劇会と囲む会	東京宝塚劇場～学士会館
10月17日(木)	会員交流会「ふるさと探訪ツアー2013」	古川～トヨタ工場～塩釜
10月18日(金)	～宮城の国宝や多賀城の歴史探訪とトヨタ新工場を訪ねる～	松島～多賀城～仙台
12月22日(日)	会報「蛭雪52号」及び四校合同新年会案内の発送	信陵会館
平成26年 1月25日(土)	「第21回四校合同新年会」開催 (幹事校：古川学園高校関東支部)	上野精養軒
3月1日(土)	「東京蛭雪賞」授与、並びに古高卒業式出席	古川高校

- ◎役員・幹事会：
 定例は年間4回、その他必要事案により
 関係役員・幹事会を開催
 第1回定例6月2日開催：総会運営他
 第2回定例10月5日開催予定：総会報告他
- ◎四校合同幹事会：
 四校合同新年会(H26.1.25)にむけて、
 10月下旬から1月
 中旬までの間に3～4回開催する。
 古高出席者：曾根 佐々木(恭) 上野 大友(文)

第2・4号議案 平成24年度決算／平成25年度予算

収入の部

科目	H24年度決算額	摘要	H25年度予算額
年会費	724,000	313名 362口 @2,000/370口	740,000
広告料	80,000	企業・個人広告	80,000
寄付・祝儀金	24,700	個人寄付	30,000
雑収入	27,735	総会・新年会他 剰余金	50,000
収入計	856,435		900,000
前期繰越金	1,523,572		1,270,439
合計	2,380,007		2,170,439

支出の部

科目	金額	摘要	金額
会議費	170,855	役員・幹事会資料代他	80,000
印刷費	526,070	会報、案内状、封筒他	480,000
事務用品費	7,344	コピー・文具代他	10,000
事務所経費	57,700	信陵会館年間契約料他	60,000
通信費	192,416	電話、切手、はがき他	180,000
慶弔費	53,000	東京蛭雪賞他	80,000
旅費交通費	66,400	本部総会、卒業式出席旅費他	100,000
活動費	2,100	ホームページ開設準備等	40,000
雑費	33,683	年会費振込手数料他	1,100,000
支出計	1,109,568		1,070,439
次期繰越金	1,270,439		2,170,439
合計	2,380,007		

『江戸・東京 探訪ツアー 2014』

同窓会本部、在仙、在京同窓会の共同企画による3回目の恒例のツアーが10月25日(土)に開催されました。「仙台掘」の駿河台の御茶ノ水から江戸の古きを訪ねて東京の新しいを知る探訪でした。鈴木校長、本部、在仙から3名を含め、総勢17名の参加を得まして、懇親会(桃仙郷)では話が尽きませんでした。引き続き楽しい探訪にしたいと思っております。

(事務局 昭38佐々木恭次)

— 東京再発見 —

昭30年卒 門脇喜代志

今のように情報網が発達している時代と違う昭和30年に卒業し、井の中の蛙と全く世間知らずの状態で上京し、目に入るもの全てが珍しく、暇を見付けては足を棒にして東京巡りに興味を持っていました。



お茶の水集合

『江戸・東京探訪ツアー 2014』

参加者(敬称略)

- 【本部同窓会】 鈴木 悟(学校長) 渡邊 義之(昭34)
- 【在仙同窓会】 堀越 五郎(昭30)
- 【在京同窓会】

門脇 健(昭24)	春田 紘輔(昭27)
佐藤 廣(昭29)	門脇喜代志(昭30)
曾根 研一(昭30)	横山 武(昭30)
大友 正行(昭33)	高橋 俊裕(昭33)
鹿野 軍勝(昭36)	児玉 隆行(昭36)
千坂 孝夫(昭37)	佐々木恭次(昭38)
上野 正司(昭39)	大友 文博(昭42)

クリスマス・イブがやって来まして、クリスマス・イブには教会でどんな事をやるだろうか、深々と寒さ身にしてみる夜でしたが、勇気を奮って好奇心浮き浮きしながら教会ニコライ堂に辿り着きましたところ、真つ暗で構内は静まり返っており、諦めて帰った思い出のニコライ堂でした。

それ以来、更にニコライ堂の中はどうなっているか是非見てみたいのが長年の願望でした。しかし大望の今回も今の時間は休みで中に入る事ができませんでした。またまたご縁がなく残念!と独り言を言いながら聖橋を渡って、孔子廟である湯島聖堂へと向かう。ここでは多種に渡る講座(論語、漢詩、古典音楽、太極拳、漢字、書道等々)催されておるとのこと。さすが江戸時代からの幕府直轄の「塾」であるなあと感心させられた次第です。次に神田明神へ廻り、730年創建と伝えられる古社本殿に平将門を祭神の一人として祀っておられるとのこと。神田明神の神田祭、

赤坂日枝神社の山王祭、浅草の三社祭、この3つの祭が江戸三大祭と称されており。神田祭の神楽を担ぐ姿が半てんではなく白装束で厳かに担がれるのです。



神田明神

次に東京都水道歴史館へ行く道中に珍しい「おり紙会館」があり、店に入り話し込んでいる中にメンバーと離れてしまい、大人気なく慌てる事もありましたが、東京医科歯科大、順天堂病院を通り抜け水道歴史館へ。私達の生活には水が何より大切です。江戸時代の上水木桶や木井戸そして現代の水道の歩みの展示物を見たりして勉強をしました。我々子供の頃は川の水や共同の井戸水をバケツで運んで足で汲んでおいて飲み水にしておりましたが、上水道が各家庭に引かれ、蛇口のコックを捻ると水が出て便利になりました。そこでその当時の子供達は水道のことを、ひねると

ジャーン!と言ったことを思い出しました。仙台掘の綺麗になった川面を見たりしながら小石川後樂園へ、ここは385年前に水戸徳川家の中屋敷として造られたもので、池を中心に回遊式築山泉水庭園となっており、滝あり、島あり、橋あり、多種の樹木は季節季節で花を咲かせており、都心とは思えない静かな庭園です。

昔は我々庶民には覗き見ることすら出来なかつたでしょうが、今日はお殿様にご招待を受けた気分でお遊してみますと、これまた格別な趣を感じられました。

大方一万歩程度歩き続けると足腰への負担が増してきましたが、外国人には浅草の次に人気のあると言われる今日最後の名所、神楽坂へと各々が身と心に気合を入れて頑張る。毘沙門天の門前町として明治の頃から繁華街へと発展した神楽坂商店街に着き、粋な感じのする街並を見てとりながら目的の会場である「桃仙郷」に到着しました。お部屋に上がって見るに惜しいかな神楽坂芸者さん是不在でしたが、会席料理に行き届いたオモテナシで長旅の疲れも抜けてしまい、美酒の注ぎと共に会話にも拍車がかかり、宴もたけなわとなりましたが、予定時間となり貴重な懇親会も終了となりました。東京も広くて深味も

あって、いい所が沢山あります。また自分では知っているつもりのも所でも二度、三度と見るのも楽しいものです。どうぞ皆さんも参加してみませんか。

— 江戸を振り返る —

昭36年卒 児玉 隆行

素晴らしい秋晴れに恵まれた10月25日(土)10時40分、JR御茶ノ水駅聖橋口改札前に集合。最初に向かったのは駅近くのニコライ堂。緑青を纏った高いドーム屋根が印象的だ。明治24年竣工の日本で最古、最大のビザンティン様式の教会建築という。駿河台に位置しており、当時は遠くからもその威容を展望できた事だろう。

続いて道を戻って聖橋へ。下を流れるのが神田川。江戸城の外堀と治水対策のために造られた川である。現在の飯田橋から秋葉原付近までを仙台藩主伊達政宗が普請したことからは仙台掘と呼ばれる。聖橋から眺め、その深さを実感。

聖橋を渡り、右手の森の中にあるのが湯島聖堂。5代将軍徳川綱吉創建の孔子廟である。後に昌平坂学問所が開かれ、現在の東京大



孔子像



小石川後楽園

学などの源流となった。大成殿は黒塗りで重厚壮麗だ。構内にある孔子像の世界一の高さに圧倒される。

次に向かったのは神田明神。天平2年創建の古社で元和2年現在地に移され江戸総鎮守となった。神田祭は江戸三大祭りの一つである。緑青色の大きな鳥居をくぐる。朱色が鮮やかな随神門と本殿。拝殿が目飛び込んで来て圧巻だ。参拝を済ませ、次の東京都水道歴史館に向かう。東京水道400年の歴史を江戸時代と明治時代以降に分けて実物展示や歴史資料、映像で紹介している。江戸上水の技術の高さ、世界有数のレベルに成長した東京水道の進化に感動。

続いて向かったのは小石川後楽園。寛永6年水戸藩主徳川頼房が築き2代光圀が完成させた回遊式築山泉水庭園である。神田上水の分流を引き入れ、山、川、湖など景観が巧みに表現されている。まさに大江戸・東京に残る深山幽谷の趣だ。

最後に昼食会場の神楽坂「桃仙郷」へ。散策で空腹の中、早速懇親会がスタート。「盛り込みの9品御膳」とお酒・ビールを堪能。皆さん話の花が咲き、大いに盛り上がり、15時40分に散会した。実に見所満載の楽しく有意義な探訪ツアーでした。

会員による自由投稿

「古川町」考

昭20年卒 高橋 昭典



私は旧古川町の出身。住んでいたのは10年程だが、最近地図を買ってみて驚いた。地名が「十日町」から「古川十日町」、「南町」は「古川南町」と変わり皆「古川」が上についている。古川は明治22年に「古川町」、昭和25年に「古川市」、平成18年に「大崎市」と発展してきたが、改めて古川の歴史を調べ古川は素晴らしいと思った。

まず古川には紀元前8世紀以前の太古から人が住んでいたようだ。旧石器時代の「古川馬場壇A遺跡」、「岩出山座敷乱木遺跡」、縄文時代の「小牛田素山貝塚」、「田尻中沢貝塚」、弥生時代の「田尻中沢

貝塚」、古墳時代の「小牛田京銭塚古墳」、「古川青塚古墳」、「三本木山畑横穴群」、「古川日光山古墳群」、「田尻木戸窯跡群」、「古川大吉山窯群跡」があるので、この辺りは太古の昔から人の住み易い所だったのだろう。

また大化改新後の官衙の「古川名生館遺跡」や「宮崎遺跡」があり、蝦夷防衛の最前線だった色麻柵(色麻、玉造柵(中新田)、新田柵(田尻)の遺跡などがあるので、昔からこの地方の要地で古くから発展していたのだろうが、歴史が動いたのは1354年(室町時代)に斯波家兼が奥州管領として名生官を居城にしてから。

それから240年間古川は、1590年8月豊臣秀吉に領地を没収されるまで斯波氏改名の「大崎氏」に統治されていた。古川の開祖は7代教兼の6男某と伝えられているが、同門の古川弾正忠隆が古川城を構えていたほどだから古川は要地だったのだろう(大崎氏は、玉造、志田、加美、遠田、栗原の大崎5郡を領していたが推定禄高は35万石)。

大崎氏の後は、豊臣秀吉から葛西・大崎12郡30万石を与えられた木村吉清・清久(明智の旧臣で秀吉側近、5千石の侍大将)の領地となって、名生城に入った木村清久が支配していたというが、木村親子の悪政で葛西・大崎の旧臣らの一揆がおき、古川城は一揆の拠点となって大崎旧臣の古川弾正ら3千人が伊達軍と戦ったというが、

1591年6月末に落城し、一揆は鎮圧されて木村親子も追放され、古川は伊達政宗の領地となった。

伊達政宗はこの大崎氏の旧領古川を国家老の鈴木和泉守元信に与えた(知行は1500石。分限帳では2464石)。

元信は理財に長け仙台藩の経営で真価を発揮した練達の人なので、古川は元信の知行地になったのはラッキー。元信は1604年に古川町の検断役に佐々木大学を起用して新しい町割り(御町割方検断)を行い、「瑞川寺」を再興し「三日町」、「七日町」、「十日町」の市場を開いて産業振興を図り、繁栄の基礎を作ったという。瑞川寺の山門は廢城になった古川城の搦手門、1620年に死亡した元信はここに葬られている。

元信死後古川は伊達藩の直轄領になり現在の市役所のところ代官所。古川は「千石米」の生産地。大崎耕土の中心地で、仙台藩は年貢を納めた後の余剰米を買い上げて江戸に出荷したが、その流通基地が江合川の長瀬・古川と鳴瀬川の四日市場・中新田。平田舟で石巻まで運び35反の帆を巻き上げた千石船で江戸まで運んだという。

今や昭和20年に8時間かかった東京―古川間は新幹線の「はやぶさ」で1時間47分。それまでは小牛田乗り換えの東北本線だったの。昔私達は鉄道開通の時に炭塵を嫌って迂回させた明治の人の愚かさや怨んだものだが、今は東京と直通で古川駅の周りの発展は

凄いい。だが昔の景観は全くなくなり、昔の米どころの活気もないのは淋しい限りだが、新幹線は町割り以来の発展のチャンス。古川人として地方創生策で大胆な産業誘致や産業創生をし、力強く底固い発展を期待したいものである。

同期会 古希記念大会

昭38年卒 佐々木恭次

去る11月16日(日)古高15回生39人が菅原四郎君の親戚の「ホテル松島大観荘」に集り、斗笠稲荷神社(通称・トツケサマ)(元神主橋本正敏君)で古希厄払いのお札を貰い、古希を祝いました。卒業後50年振りに初めて会う同期生もおり白髪や薄くなり、人生の年輪を重ねて街中で会う、いいオジさん。顔になっていました。今野良郎会長の下、荒谷正咲事務局の辞退を押し留め今後の継続につき満場一致で承認となりました。

県行政に尽くした平井秀毅君の叙勲(瑞宝小)の報告や、宮本信夫画伯が新装の古川市民病院前広場に来年3月末迄に作品を完成させることになった話がありました。これは病でなくなった篤志家が宮本画伯の作品を病院に展示してほしいという遺志によるものです。横綱白鵬(大崎市の宝大使)の額縁とは違った意味合いで、病院を訪ねた患者さんらが必ずや癒されることかと思えます。篤志家が古高出身でないのはチョッと残念と思ひながら、自分の出来る範囲



蛭雪十五回古希記念大会 平成26年11月16日 於 ホテル松島大観荘

で周りにいいものを何かしら残して行く人生の姿勢に見習うものがあります。
オカリナの名手である佐藤公一郎君らの歌声を聞き久し振りに会ったことで酒を酌み交わしながら炭焼きや晴耕雨読など生き方についての人生談義とかで夜更けまで時間尽きることなく話し込みました。
最後は、在学時応援団長の菅原靖彦君のエールで閉め再会を約しました。翌朝の朝陽が上がった展望風呂からの松島湾の眺望も素晴らしいものでした。
当日は天候に恵まれ、集合前に「瑞巖寺」傍の「円通院」も訪れ、真つ

盛りの紅葉を多数の人と満喫して来ました。昨年「ふるさと探訪ツアー」で、支倉常長伝来の厨子に描かれている花の絵画を探訪した

―四校合同新年会― 4回目の「新春コンサート」を企画するにあたって 副会長 曾根研一（昭30年卒）

1年前の四校新年会（H26年1月26日）が終わったあと、私は仕事で、NHK交響楽団の定期演奏会が行われている渋谷のNHKホールに向かいました。楽屋口からステージ横に行くと、本番に備えている伊藤圭君（N響クラリネット・古高H8卒）と野間春美さん（ピアノ・古女S63卒）に会うことができました。ビッグなコンサートの関係者で、同窓生3人が集うのも珍しいことです。



アンサンブル・ピアニストの第一人者、野間春美さん

翌日も同じ本番があったので、お二人には「来年の四校新年会は、コンサートをやりましょうか」と、それとなく話しかけました。
翌月のNHKホールでは、「歌謡コンサート」で工藤春彦さん（ヴァイオリン・古高S47卒）と一緒に四校新年会、空けておいて下さい」と。
3月の在京古高幹事会で、次回



「NHK歌謡コンサート」のコンサート・マスターとしてレギュラー出演している工藤春彦さん

の「四校」でコンサートを提案、認められたので早速始動開始。
東京交響楽団の相澤政宏君（フルート・古高S62卒）に連絡したところ数日後、「オーケストラの出番の調整ができ、降りることができたので大丈夫になりました」と。



東京交響楽団の首席フルート奏者・相澤政宏さん



日本を代表するオペラ歌手・成田博之さん

相澤君と同期の成田博之君（バリ

トン歌手・古高S62卒）も、2月にオペラ「リゴレット」の大役があるのに「参加させていただきます」と。
一時体調を崩して大和田雅洋君（サクソフォン・古高H1卒）は、古高吹奏楽部の定期演奏会にゲスト出演することを知り、元氣そうなので、声をかけたところ快諾を得ました。



多数の大和吹奏楽部のコンクールで内外のサクソフォン奏者として活躍する大和田雅洋さん

四校の合同新年会で、同窓生によるこの様なコンサートは4回目になります。再び感動の舞台を作ってみたいと思っております。
前述のN響・伊藤圭君と、日本フィルハーモニー交響楽団のクラリネット奏者・芳賀史徳君（古高H14卒）は、オーケストラのスケジュールを降りることができず、今回は出演できませんでした。東京フィルハーモニー交響楽団で活躍された岩出山出身のクラリネット奏者・伊藤正太郎さん（古高S46年卒）は、定年退職されましたが、まだ、勉強中の「プロ予備軍」も控えています。
「古川高校には音楽専門コースがあるのですか?」「古川高校にはオーケストラがあるのですか?」とプロの音楽家から問われることがありますが、私は、今だに答えが出せません。

―お知らせ―

第21回 旧古川市内四校関東同窓会「新年の集い」

【日 時】平成26年1月25日(土)
11:00～総会
11:45～公演 「みやぎの民話」を語る
「大友かのえ」の昔語り
(大友かのえ：大正9年三本木町生まれ)
12:45～15:00懇親会
【会 場】上野精養軒
JR上野駅公園口から徒歩5分
電話 (3821-2181)
【会 費】8,000円

『むがす あったつ おんな ほれ』全61話の中から
1. 「尻つたれ嫁子」 語り：渡辺 星幸（黎明高S39年卒・東大崎出身）
2. 「節分に豆まくわけ」 語り：鈴木ナカ子（黎明高S39年卒・三本木出身）
3. 「猫が鼠を捕るわけ」 語り：佐野三千代（黎明高S39年卒・古川出身）
ナレーター：佐野三千代
資料提供：相澤 昭男
(古高S31年卒・三本木出身・大友かのえの親戚)
音 響：猪股 淑（古工S38年卒・宮崎出身）
企 画：古川学園高校同窓会関東支部
協 力：みやぎおらほのことば会



会員通信

●25年9月、熱海に4年間いました。長女・長男の要請に応じ、東京に転居しました。私だけは東京が初めての住居です。

●22結核予防会学術相談役 松本慶蔵
●関東特殊製鋼(株)に65歳まで勤務して厚生年金で生活しております。足を含めた下半身が不自由で、長時間の歩行が困難です。皆様によろしく。(総会の) 御盛会をお祈りします。(S23大金昭夫)

●千支7巡目ともなると、身体のあちこちの老化が募るものの、気力はなんと維持しています。妻の介護もあり、外出が思うままにならないので、不義理することも多く、失礼しています。友人・知人の来宅を得て、談論するのが幸甚。(S24三浦澄能)

●老齢なので総会出席はこれが最後だと思います。昨年(25年)11月に近くのお寺に墓石も立てたし、身辺整理など専ら「終活」をやっています。(S26鈴木桂吾)

●足が弱くなったので、ノルディック・ストックを購入し歩行しています。ボケ防止に花を振り、写真ハガキを作り、先輩・同僚に送り楽しんでます。幹事諸氏の「苦勞」に感謝しています。

●25年の誕生日で傘寿を迎えました。『きょういく』(今日行くところ)がある。『きょうよく』(今日よく)がある。『きょうよく』(今日よく)がある。『きょうよく』(今日よく)がある。

●相変わらずボランティアの日本語教師を、練馬区桜台地域集会所でやっています。命の続く限りやろうと思っています。(S27菅原峯雄)

●今度の蜜雪第53号も精読させてもらいました。母校の実態(現況?)が、良く解ります。運営の皆様、ありがとうございます。(S29小野賢次)

●最近、竹田恒泰氏の「原発はなぜ日本にふさわしくないのか」小学館を読み、国内存在原発の最終処分の?と共に、代替火力発電タービン翼の

金庫↓CMC(セラミックマトリックスコンポジット)への転換を急がれている。同窓会員でフォローしていただけたら幸甚です。(S29菊地 務)

●卒業60年になります。会費納入の上限を決めては如何ですか?私の大学同窓会は50周年で打ち切りです。(S29関口克己)

●一、町の歴史を調べ執筆(寺子屋と私塾) 二、陶芸、自宅で製作(油滴天目茶碗) 三、尺八(古曲新曲を琴と合奏)(S29湯本良師)

●今年8月で満55年になります。再発防止のため外出を控え、リハビリ体操・散歩を続けています。(S30木村哲彌)

●当然の如く、年と共に体力の衰えは否めず、少しでも現状維持をしたいので、毎日散歩1時間、週2回卓球の練習会、月1~2回卓球大会の試合に出て、適当な刺激を求めています。(S30横山 武)

●会費で会の運営を賄い切れないので「賛助金」というのは会の運営として不健全と思われませんが、何か一段と活動を活性化させる意図があるのですか? とりあえず賛助金として2千円送りますが、ちょっと腑に落ちないです。(S30和田勝義)

●いつもお誘いありがとうございます。身も心も特にふところも弱って来て、出不精になって来ました。(S31石川勝夫)

●(総会の) 特別講演に興味があります。高校時代まで農村で暮らし、自然に「神様」と「仏様」を信仰し、それを当り前と思っていました。核家族の今、改めて宗教について考えてみます。(S31福原克彦)

●3月に、住みなれたつくば市に引越しました。元気に生活しております。(S31森 茂樹)

●体調不良(心臓病で息苦しい)。又耳が遠くなり、人の話が聞きとれない事がある。健康管理には十分注意するようお願いいたします。(S29高梨利通)

●(S33) 柳ササキ商事(佐々木光一路) H26年1/9交通事故で大怪我。5/20やっと退院し、今は衰えた筋肉を鍛えることにしています。1/5/2年は慎重に歩きたいと思えます。(S33三浦義明)

●「ところざわ」外出支援ボランティア「ポート」支援費の支給を受けられない障害者のために、無報酬で外支援助を行うボランティアを立ち上げ、活動しております。(S33早坂英郎)

●最近、腰痛が起り歩けない。車運転は問題なく、今でも東京-古川間を車で、年間約1万2千km。(S33山本道也)

●新潟リハビリテーション大学を、14年3月で退職し、NPOアビリティーズ協会で働いております。(S35遠藤文雄)

●いきがいが大学2年課程に合格しました。(S35工藤 理)

●腰椎の手術退院後、毎日1時間程度の歩行練習でリハビリを継続しています。冬の間は寒いので、日中歩いていましたが、今はさわやかな季節なのでAM6時から歩いてます。(S36菅野俊次)

●色々と病気をかかえながら、まわりたすけられ生きています。薬と友達になつてはだめ。ウォーキングを心がけ、体力をつける。(S36佐藤宗博)

●在京古高同窓会は新会長を迎え、HPも開設一新され、益々の発展を祈ります。茨城県在住50年、つくば万博・国体等のイベントもあり、本年は高校創文等のイベントは日本最下位ですが、自然災害も少なく豊かな農業水産県です。晴耕雨読、仕事と業を操り、自治会役員文化活動等、趣味三昧の毎日で心技体・文武両道の古希の道を歩んでます。(S36菅原 徹)

●同級生・森祝之君の死去(2/16)。まさかの事故(10/6)から4ヶ月、怖れていた日がとうとう来てしまった。予測されていたとは云え友人からの電話に呆然。年数回の帰省時、賑やかに古川弁で迎えてくれた彼。春立ちぬ君の帰らぬ春立ちぬ(城山三郎)。哀惜の念に堪えず。(S36高橋幸裕)

●幹事の皆さん、ご苦労様です。昭和36年卒が少ないようなので気になつて存じます。いざれ参加できるようにしたいです。(S36千葉 昇)

●は頑健で、野球漬けの日々を送っております。県外大会もあり、青森の八戸・大阪等、全国大会に出場。(S37六戸照男)

●同窓会とは関係ないかと存じますが、この度の平成26年春の叙勲におきまして、「瑞宝小綬章」を受章しましたので、「一応」報告だけさせていただきます。(S42年3月東北学院大卒。勤務経歴・S42年4月から平成15年3月まで内閣府)

●いつもお世話様です。仕事に歌にとガンバッテいます。(S39上野正司)

●また1年過ぎました。昨年と違うことは、長男夫婦そして孫2人と同居しているんです。世話も大変ですが、顔(笑う)にストレスが解消してしまします。(S39笹原誠一)

●長野県県民文化会館の館長として、2012年から長野市に在住しております。(S41金沢 茂)

●幹事の皆様、大変ご苦労様です。(独)農研機構・生研センターを退職し、4月から(公社)農林水産・食品産業技術振興会の農林水産先端技術研究所に再就職しました。(S41高橋秀之)

●25年3月に咽頭ガンに罹り、放射線と抗ガン剤の治療で完治せず、10月に声帯を含む摘出手術をおこない、現在に至っております。(闘病生活を頑張っています。)(S41藤吉和史)

●岩手・宮城の被災地支援中(2回程度/月、計7/8日)。6/21は鮎川、6/22は仙南巨理の予定で(総会)に参加できませぬ。2009年(2013年)は、NGOでアフリカでした。(S42斎藤文司)

●26年1月に定年退職(65歳)となり、現在は農作業に取り組んでおります。(S42美川 功)

●「蜜雪」何時も年のご案内感謝敬服申し上げます。当家は文彦(S31)、拓夫(S33)、里美(恵生)3人が卒業し巣立ちました。矢張りいづつになっても母校なので、先般参加させて戴いた集いの「みやぎの民話」は圧巻で御座いました。ツイ涙腺が悪くなりました。(S42全日本空手道連盟・森谷塾代表 森谷里美) いつも会報をお送り頂きありがとうございます。

●築館定期戦などを取り上げたスポーツ雑誌を26年7月に創刊しました。(S45河北新報総合サービス岩瀬昭典)

●親の介護で、古川は、月1回は行っが目立ち寂しくなったなあと思っています。(S46遠藤 孝)

●念願のハリーレーを中古ながら手に入れ、還暦ライダーとして月1回の定例ツーリングを楽しんでいます。水戸のハリーレークラブも、なかなかの壮観です。(S46高堀昭二)

●一度退職してから、又、会社をおこしまして、今は自営で頑張っております。(S47高橋 光)

●我孫子市で歯科医院を開業30年となりました。何かと忙しい毎日を送っています。同級の伊藤健二ちゃんも忘れられない一人です。次男が生まれた時、「文字」「健」を頂きました。今は歯科矯正科医です。(S48みどり歯科 石川克城)

●4月に転勤(名古屋)となり、東京圏から離れることになりました。(S55郵政省 渋谷孝男)

●盛岡大学より目白大学短期大学部に移動になり5年目を迎えました。元気にやっております。(S55鈴木健之)

●心よりご冥福をお祈りいたします

●今号から「蜜雪」作成作業のお手伝いをする事になった。在京古高同窓会会報「蜜雪」は1988年12月に第1号を発行してから26年になる。よくこれだけ長い期間発行を継続することができたものと正直感心した。これも同窓生や関係者の皆さんの御協力の賜物と思う。昨年で残念なのは蓮つかささんの観劇会と困む会が日程の都合で出来なかつたこと。(木下)

編集後記

今号から「蜜雪」作成作業のお手伝いをする事になった。在京古高同窓会会報「蜜雪」は1988年12月に第1号を発行してから26年になる。よくこれだけ長い期間発行を継続することができたものと正直感心した。これも同窓生や関係者の皆さんの御協力の賜物と思う。昨年で残念なのは蓮つかささんの観劇会と困む会が日程の都合で出来なかつたこと。(木下)